

●委員会だより●

●経営委員会●

現在の低迷する経済社会の中で、経営者が今、何を考え、何を行うべきか、現在も躍進する企業の、経営者の物の考え方、商品、仕事の捉え方を勉強しました。

顧客の求めているものは何か、商品、サービスのどれを取つても、今までは価値観の違う物であり、常に情報を多く捉え、真のサービスを実行すべきであり、そういった意味では、今が大なるチャンス時代であると、委員会を通して、学びました。

ピンチはチャンス！ 前向きに、チャレンジしている経営者にとつて、最大の時であります。情熱プラスアイデアそして努力が実を結びます。皆様の多くの意見、参加を、これからも、宜敷くお願い致します。

●親睦委員会●

まず、1月13日倉敷商工会議所青年部賀詞交歓会が盛況に開催されましたことを、親睦委員会として、会員の皆様にお礼を

申し上げます。

当委員会は、新入会員大山雅章氏を加え27名になり、毎月開催の委員会を会員相互で楽しく運営をしております。

当委員会は、2月5・6日に高知市の土倉副会長の高知支店の視察旅行を行い、参加人数は14名で、たいへん貴重な会社見学をさせていただき、宿泊したホテルは、西武ライオンズの春のキャンプで使用していたため今、話題の松坂君に会えるおまけつきでした。

当委員会は、全会員が参加していただけの企画を、いろいろと考えてきましたが、本年度も残り少なくなりました。来年度は、メンバー多数参加で、新しい委員長のもと新企画を考えたいと思いますので、ご期待をしてください。

●ニューメディア委員会●

ニューメディア委員会が発足して、1年が過ぎました。

New Mediaという名前を和訳すると「新しい媒介(物)」となり、すなわちインターネット(www)ということになります。というかなり強引な語源解釈か

ら、インターネット網を使って情報の送受信・ホームページの制作といろいろな計画を立てていたのですが、いざやってみると下準備・計画の不備でできていないの1年でありました。

次年度は、今年度末に委員会でコンピュータ(ノートPC)を購入したことから、さらなる前進が可能になるはずですが、このパソコンについては、青年部の方であれば利用することが可能です。利用詳細につきましては、事務局にお尋ね下さい。

また、皆様からのご質問を、お受けしております。インターネットはもちろん、PC設定・購入検討・ソフト関係など何でも結構です(購入斡旋はいたしません)。info@kurashiki.net

●なんでも委員会●

昨年暮れに、元気なはずの治療済み虫歯が欠けてしまい、あわててN歯医者へ駆け込んだ。

この歯医者へは10年ぶりであった。無事終わったが、入れ歯が馴染むまで、正月中、悩んでいた。

ところで、「資格男」の異名を持つ私は、現在、ファイナンシャルプランナー(AFP)資格取得の為、養成講座で、土日

曜日3時間コースを午前午後2回づつ、テレビ画面を見ながらの授業を受けている。ある日、講義を終えて、うす暗い岡山の街を倉敷へ向けて疾走している時、「いつも、正確に見える矢印信号(直進と左折)が、くっついて見える。カギカッコのようになって、さでさで、頑張りすぎて、TVからの電磁波の影響で体調を崩したのかと思ったが、内科の前にY眼科に行つた。視力検査後、先生曰く、「Yさん、これは老眼の始まりです。」「ア、とうとう頭だけでなく、眼までも悪くなったのかと、ガツクリ。」

青年部卒業を控え、昔から言われている様に、男の甲斐性は「目・歯・〇〇」の順に衰えると、近所のおじさんが言っていたのを思い出した。「ウーム」

会社の帰りに、スポーツジムへ通い、体力増進に努め、今年の秋の大運動会には、さっそうとした走りを夢見ているが、その前に別の心配をしなければならぬ。「日本では珍しく短期で許認可された新薬はいつから使用可能になるのだろうか。」と。

●総務委員会●

総務委員会では、11月18日、19日と島根原子力発電所視察を行いました。視察先は、島根原子力発電所をメインに島根原子力館、島根ワイナリーで地球環境問題から地元企業の活性化までを再認識するという目的のもと総務委員会の精鋭5名が参加しました。

島根原子力発電所では専属のコンパニオンのきめ細かな説明があり、構内から中央制御室、そして原子炉建物、タービン建物まで見学させていただきました。また原子力館では実物大原子炉模型、立体映像ハイビジョンなど最新の展示技術を楽しみながら、原子力への理解を深める事もできました。



総務委員会のメンバーの日頃の精進の程を裏付ける事となりました。

●交流委員会●

本年度、突然交流委員長を仰せつかり、直前会長としての役目も放り投げて、1年を過ごして参りました。多くの皆様のお力添えをもちまして、なんとか年間スケジュールを終えることができました。委員会運営は、独断専行で進めて参りましたが、私の力不足と、企画不十分で、なかなか事業趣旨の浸透が図れず、出席賛同がいただけなかったことに、深く責任を感じております。次年度は、その点に十分にご留意され、新たな展開がはかれますよう新委員長に託したいと思っております。最後に、交流委員会メンバーの皆様と、執行部役員の方々の心温まるご支援・ご協力に深謝申し上げます。ありがとうございました。

